

平成13年3月22日

報道各位

会社名 株式会社ニチレイ
代表者名 代表取締役社長 手島 忠
問合せ先 総務広報部(山田・岸)
(TEL03-3248-2235)

A・B両型対応のインフルエンザ簡易診断薬発売の件

株式会社ニチレイ(東京都中央区築地6-19-20 社長:手島忠)は、インフルエンザ簡易診断薬「ジースタットフルーA&Bキット」を発売いたしました。この製品は、米国ZymeTx(ザイメテックス)社が開発したもので、日本においては株式会社ニチレイが輸入総代理店として独占販売権を取得しております。3月8日に厚生労働省の輸入承認を取得し、3月16日から発売を開始いたしました。

この製品は、インフルエンザウイルスに存在する酵素、ノイラミニターゼの酵素活性を利用し、感染を判断するものです。合成基質がノイラミニターゼによって分解されると、青色を発するため目視での判定が可能です。

この診断薬の特長は、A、B両方の型のインフルエンザウイルスの感染診断ができること、極めて短時間(約20分)で結果が判明すること、従来の抗原・抗体型診断薬と比べ、操作が簡単になったうえ誤認率が大幅に低下したこと(約10%)、保存期間が室温で1年6ヶ月となったことがあげられます。迅速かつ簡単に精度の高い診断が可能となるため、インフルエンザの早期治療に有効な手段となることが期待されます。

今年の冬の流行期(2001.12頃)から本格的な販売を見込んでおります。現在保険適用を申請中で、2001年度の売上は約3億円を目標としています。販売先は当面医療機関向けに特化します。

ZymeTx社
所在地:オクラホマ市(米国)
事業内容:インフルエンザをはじめとする感染症についての診断薬・治療薬開発
売上高:122万ドル(2000年)

以上